



# 大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」  
～ 認め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たししい子(体)

令和8年5月29日 第3号

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-esaitama-city.ed.jp/> メールアドレス [osato-e@saitama-city.ed.jp](mailto:osato-e@saitama-city.ed.jp)

## 思いやりと信頼がつくる、いじめのない毎日

校長 新堀 栄

初夏の風が心地よく感じられる季節となりました。6月は、さいたま市の「いじめ撲滅強化月間」です。本校でも、互いを大切に、思いやりのある関わりを育てる取組を進めています。校内を回っていると、子どもたちの優しさや信頼関係の深まりを感じる場面に、日々出会います。

例えば、いつものように校舎内を回っていたときのことで、6年生の授業を参観すると、担任の先生が丁寧な字で、色チョークを使いながら要点を分かりやすく板書していました。私が「先生、板書上手ですね」と声をかけると、先生が照れたように笑うより先に、子どもたちが「ありがとうございます」と返してくれました。担任を褒められたことを自分のことのように喜び、お礼まで言える姿に、学級の確かな信頼関係が伝わってきました。

こうした温かな関係は、授業だけでなく、学校生活のさまざまな場面に広がっています。給食の準備では、牛乳を取りに来た中学年の児童が、重い方の牛乳かごを迷わず自分が持ち、軽い方を友達に「どうぞ」と譲っていました。自然に相手を思いやる行動ができる姿に、心が温かくなりました。

また、生活科や理科で育てている一人一鉢の植物でも、自分の鉢だけでなく、友達の鉢にも水をあげている子がいます。さらに、毎朝校門に立つ私に、「校長先生、おはようございます。いつも元気なあいさつをありがとうございます」と声をかけてくれる児童の姿もあり、こちらが励まされる思いです。

このような一つ一つの姿は、単なるやさしい行動にとどまるものではありません。相手を尊重する気持ちや、相手の立場に立って考えようとする姿勢こそが、いじめを生まない土台をつくる大切な取組であるといえます。こうした日々の何気ない行動の積み重ねが、安心して過ごせる学校づくりにつながっています。

このような子どもたちの姿にこそ、思いやりと信頼が息づく本校のよさが表れています。子どもたちが互いを尊重し、相手の気持ちを想像しながら行動できる背景には、ご家庭での温かな関わりや地域の皆さまの見守りがあることを、改めて実感いたします。

気がつけば、1学期も残り半分となりました。これから暑さが増し、本格的な夏が近づいてまいります。子どもたちが元気に学校生活を送れるよう、体調管理にも十分配慮しながら、引き続き学校全体で見守ってまいります。